

第4部

意見募集
メニューごとの
実施方法

各意見募集メニューごとの主な実施方法等を記載しました。

1 有識者インタビュー

(1) 目的

将来像を検討するにあたり、経済社会の動きなどについての現状認識と将来の見通しを確認するため、学識経験者、経済人などを中心にご意見を伺いました。

(2) 手法

- 有識者と対面で、約1時間～1時間半談話する方式
- インタビュアーは、福岡アジア都市研究所の研究者

(3) インタビュー項目

- 下記、5項目を設定し、インタビューを実施。
 1. これまでの25年間、これからの25年間に対するご見解
(世界・アジア・日本・福岡市などの視点から)
 2. 福岡市に目指してもらいたい(目指すべき)都市像
 3. 福岡市が成長する過程で伸ばすべき良いところ
 4. 福岡市が克服すべき課題
 5. その他、ご自身の事業や職業等からのご提言
- 52人の有識者にインタビュー実施。
(※最終的に58人の方に実施しました。)

2 フォーラム(アジアのリーダー都市ふくおか!プロジェクトリレーフォーラム)

- 将来像を検討するにあたり、切り口や、視点・論点になるのではないかと考えられるテーマを各回ごとに設定し、そのテーマに造詣が深い、多彩なゲストを迎え、フォーラムを開催することで、専門的な知識等に基づくご意見をいただきました。
- 全11回の開催。53人のゲストが登壇し、延べ約1,100人が参加。

【各回におけるテーマとゲスト】※肩書きはフォーラム開催時点

第1回 「福岡市の未来を描くキーワード」

・平成23年6月18日(土) 福岡市役所 15階講堂 参加者約200人

〔パネリスト〕

- ・大塚 ムネト 氏(劇団ギンギラ太陽's 主宰)
- ・川原 正孝 氏(株ふくや代表取締役社長)
- ・後藤 太一 氏(福岡地域戦略推進協議会事務局長、福岡アーバンラボラトリー代表社員)
- ・久留 百合子 氏(株ビスネット代表取締役)
- ・山崎 朗 氏(中央大学経済学部教授)

〔コーディネーター〕

- ・中川 茂 氏(西日本新聞社報道センター本部長)

第2回 「生物多様性とまちづくり」

・平成23年6月25日(土) 福岡市美術館 講堂 参加者約80人

〔パネリスト〕

- ・浅羽 雄一 氏(有ウィロー代表)
- ・小野 仁 氏(日本野鳥の会福岡代表)
- ・半田 孝之 氏(福岡市漁業協同組合伊崎支所)
- ・矢部 光保 氏(九州大学大学院農学研究院教授)

〔コーディネーター〕

- ・朝廣 和夫 氏(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)

第3回 「アクティブエイジング~いくつになってもいきいきと暮らせるまち」

・平成23年7月2日(土) 福岡市立婦人会館 9階大研修室 参加者約70人

〔パネリスト〕

- ・伊原 ルリ子 氏(株晴天代表取締役)
- ・小川 全夫 氏(福岡アジア都市研究所副主幹研究員、九州大学名誉教授)
- ・福嶋 明子 氏(FuAri communications 代表、(元ぐらんぞ総研所長))

〔コーディネーター〕

- ・十時 裕 氏(アーバンデザインコンサルタント取締役、
(元福岡市NPO・ボランティア交流センター長))

第4回 「おもてなしが育むまち」

・平成23年7月9日(土) 博多小学校 表現の舞台 参加者約70人

〔パネリスト〕

- ・井手 修身 氏(NPO法人アイデア九州・アジア代表)
- ・上田 啓蔵 氏(はかた部ランド協議会議長)
- ・山下 真輝 氏(株JTB旅行事業本部地域交流ビジネス推進室)

〔コーディネーター〕

- ・帆足 千恵 氏((財)福岡観光コンベンションビューロー)

第5回 「人をひきつけるクリエイティブなまち」

・平成23年7月16日(土) 福岡アジア美術館 8階あじびホール 参加者約100人

〔ゲスト〕

- ・伊藤 総研 氏(伊藤総研(株)代表)
- ・江口 カン 氏(KOO-KI代表/映像ディレクター)
- ・藤 浩志 氏(藤浩志企画制作室/美術作家)

〔コーディネーター〕

- ・伊藤 敬生 氏(九州アートディレクターズクラブ代表)

第6回 「スポーツとまちの元気」

・平成23年7月22日(金) 福岡アジア美術館 8階あじびホール 参加者約80人

〔パネリスト〕

- ・伊藤 清隆 氏(リーフラス(株)代表取締役社長)
- ・小林 至 氏(福岡ソフトバンクホークス(株)取締役)
- ・下田 功 氏(アビスパ福岡(株)代表取締役専務)

〔コーディネーター〕

- ・森本 博樹 氏(西日本新聞社スポーツ本部長)

第7回 「人が仕事を生み、仕事人が人を呼ぶ」

・平成23年7月28日(木) アクロス福岡 円形ホール 参加者約90人

〔パネリスト〕

- ・安藤 貴文 氏(PicoCELA(株)ソリューション営業部<九州大学発ITベンチャー>)
- ・池内 比呂子 氏(株テノ.コーポレーション代表取締役社長)
- ・柳瀬 隆志 氏(嘉穂無線(株)(グッデイ)取締役営業本部長)

〔コーディネーター〕

- ・坂本 剛 氏(株産学連携機構九州代表取締役、九州大学産学連携センター客員教授)

第8回 「都心のまちづくり」

・平成23年8月7日(日) 福岡アジア美術館 8階あじびホール 参加者約120人

◇第1部:基調講演

- ・出口 敦 氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授、
九州大学大学院人間環境学府 客員教授)

◇第2部:トークセッション

〔ゲスト〕

- ・岩永 真一 氏(NPO法人グリーンバード福岡チーム事務局長、福岡テンジン大学学長)
- ・大坪 恵太郎 氏(福岡地所(株)開発事業本部課長)
- ・酒井 咲帆 氏(株アルバス代表)
- ・原口 可奈子 氏(編集者・ライター／Wonderscope)

〔コーディネーター〕

- ・出口 敦 氏

第9回 「誰もが思いやりを持ち、すべての人に優しいまち～ユニバーサルシティ福岡」

・平成23年8月19日(金) アクロス福岡 円形ホール 参加者約100人

〔パネリスト〕

- ・張 愛 氏(外国語翻訳、中国ビジネス支援)
- ・西 政宏 氏(福岡県立柳河特別支援学校英語教諭)
- ・平井 康之 氏(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)
- ・和栗 百恵 氏(福岡女子大学国際文理学部准教授)

〔コーディネーター〕

- ・定村 俊満 氏(株ジーエータップ代表取締役社長)

第10回 「25年後のために～次世代の育成」

・平成23年8月27日(土) 福岡ビル 9階大ホール 参加者約80人

◇第1部:トークセッション「25年後の福岡を語る」

〔ゲスト〕

- ・古池 梨紗 氏(福岡雙葉高等学校2年生)
- ・庄 善勇 氏(九州大学大学院修士課程)
- ・三船 正士 氏(書家、九州大学21世紀プログラム課程4年)
- ・楊 帆 氏(九州大学大学院博士課程)

〔コーディネーター〕

- ・加藤 暁子 氏(「日本の次世代リーダー養成塾」事務局長)

◇第2部:トークセッション「次世代の育成」

〔ゲスト〕

- ・栗栖 慎治 氏(NPOアジア太平洋こども会議・イン福岡専務理事)
- ・中垣 量文 氏(株全教研 常務取締役管理本部長)

〔コーディネーター兼ゲスト〕

- ・加藤 暁子 氏

第11回 「人が集い、躍動する都市を目指して」

・平成23年10月30日(日) 福岡市役所 15階講堂 参加者約130人

◇基調講演 日本「再創造」～「プラチナ社会」実現に向けて～

〔講師〕

- ・小宮山 宏 氏(株三菱総合研究所理事長、東京大学総長顧問)

◇パネルディスカッション

〔パネリスト〕

- ・小宮山 宏 氏(株三菱総合研究所理事長、東京大学総長顧問)
- ・鍋山 徹 氏(株日本政策投資銀行産業調査部チーフエコノミスト)
- ・野田 順康 氏(国連ハビタット福岡本部 本部長)
- ・中村 文香 氏(九州大学経済学部4年)

〔コーディネーター〕

- ・大久保 昭彦 氏(西日本新聞社 都市圏総局長)

※ 第1～10回までのフォーラムでは、「データで語る福岡の今・未来」として、各回のテーマに関連のある福岡市に関する様々なデータを財団法人福岡アジア都市研究所 専門研究員である山下永子氏にご紹介いただきました。

3 市民アンケート

現在の福岡市の都市環境等についての満足度及び福岡市を将来どのような点で魅力ある都市にしたいかアンケート調査を行いました。(延べ3,250人から回答)

(1) 市民の皆さま4,500人を対象としたアンケート

- 実施先／福岡市内に居住する満20歳以上の市民の皆さまから無作為に抽出した4,500人
- 実施方法／郵送法
- 回収数／2,588、回収率57.5%

(2) 各区自治協議会会長の皆さまへのアンケート

- 実施先／各区自治協議会会長
- 実施方法／自治協議会会長会などにおいて説明し、その場で記載回収又は郵送による返送
- 回収数／121

(3) 外国人留学生と日本人ボランティアスタッフへのアンケート

- 実施先／あったか福岡 ～福岡外国人学生支援の会～
- 実施方法／日本語おしゃべりサロンの場において説明しその場で記載回収
- 回収数／36(中国人14、台湾人2、韓国人1、日本人ボランティアスタッフ等19)

(4) フォーラム参加者へのアンケート

- 実施先／アジアのリーダー都市ふくおか!プロジェクトリレーフォーラムへの参加者の皆さま
- 実施方法／フォーラム会場において記載回収
- 回収数／505(複数回のフォーラム参加者の重複回答あり)

※なお、上記(2)～(4)においては、福岡市の将来像についての自由記述欄を設けました。
ご意見・ご提案については、お手紙などと合わせて集約しました。

4 論文

「私の提言『25年後のふくおか～人と環境と都市が調和のとれたアジアのリーダー都市を目指して』』というテーマで、これから先の福岡市はどうあるべきか、何をすべきかなどについて、提言論文を募集し、26作品の応募がありました。

(1)実施主体

福岡市、西日本新聞社 共催

(2)応募総数

26作品

(3)審査結果 (各賞ごとの氏名五十音順) ※最優秀賞は、該当なし

○優秀賞(2作品)

- ◇橋詰 信吾 氏(福岡市早良区在住)
私の提言～25年後も、夢が実現できる福岡であるために～
- ◇古舘 美紀 氏(福岡市早良区在住)
スマート×エコな自転車都市FUKUOKA

○佳作(4作品)

- ◇中尾 雅幸 氏(福岡市東区在住)
～25年後のふくおかを支える人材育成への提言～
- ◇針貝 礼子 氏(糸島市在住)
福岡市に「九州マルシェ」を創ろう！
- ◇宮原 章 氏(福岡市中央区在住)
『子育てしたいまち』福岡へ
- ◇村田 義郎 氏(福岡市城南区在住)
「ふくおか」・イノチをつなぐ物語

(4)私の提言「25年後のふくおか」審査委員会審査員

- 長谷川 法世 氏 (博多町家ふるさと館館長)
- 村山 由香里 氏 (福岡県男女共同参画センターあすばる館長)
- 八尋 和郎 氏 (九州経済調査協会調査研究部研究主幹)
- 妹尾 克彦 氏 (西日本新聞社編集企画委員会委員長)
- 貞刈 厚仁 (福岡市総務企画局長)

5 ワークショップ(ビジョン・カフェ)

(1) 市民ワークショップ

① 目的

地域、企業、大学など少人数のグループで、ワークショップ(ビジョン・カフェ)を実施していただき、そこでの対話を通して生まれたご意見・ご提案をいただきました。

② ビジョン・カフェとは

ワールド・カフェの手法を用いた新ビジョン検討のためのワークショップ。話し合いのテーマ「25年後の福岡がすばらしいまちになっているとしたら、そこではどんなことが実現しているのでしょうか?」について対話をしていただき、最後に参加者一人ひとりのご意見を記載していただきました。

※ワールド・カフェとは

- ▶簡単な手順でリラックスした雰囲気を作り出し、自由に意見を出し合えるようにする話し合いの手法です。全参加者をカフェテーブルのような小グループに分け、時間を区切り、たびたび相互にメンバー交換をしながら、多様な会話と組み合わせの偶然性を楽しむものです。
- ▶従来は、できるだけ多くの人を一堂に集め、数百人での開催という大集会型でしたが、「アジアのリーダー都市ふくおか!プロジェクト」では、市民が自発的に数十人単位の集会をいくつも開くという方式を導入し、市民自身による身近な集まりで「新ビジョン」について考えていただくこととしました。

③ 開催実績

市民団体、高校生・大学生、地域(自治協議会役員の皆さん、男女共同参画推進協議会の皆さん、公民館館長・主事の皆さんなど)、民間企業などにより開催

○全91回開催(うち17回は福岡市主催)し、延べ約1,800人参加

(2) 市職員ワークショップ

職員も各局・区・室ごとに、ビジョン・カフェを実施しました。

○全18回開催し、延べ約700人の職員が参加

6 団体等からの提言

(1) 団体の皆さま

「福岡商工会議所」、「南区我等のまち」、「C&C21 研究会」の3団体の皆さまからご提案をいただきました。

(2) 市職員提言検討チーム

各局等や各区に所属するあるいは所管横断的に職員がチームを作り、自由な発想で提言を検討しました。

○約400人が参加、27の提言検討チームによる提言

7 お手紙、ホームページなどによる提案

(1) 市民の皆さま

市政だよりの紙面で、募集記事等を掲載し、郵送や専用ホームページ、アンケート自由記述、電話、電子メール、FAX、持参などによりご提案いただきました。

○391件のご提案

(2) 市職員(研修等参加者)

係長研修や新規採用職員研修等における研修プログラムの一部に市の将来像を話し合うグループワークを設けるなどいたしました。

○約700件の提案

8 ソーシャルメディア(ツイッター、フェイスブック)

ツイッターやフェイスブックなどソーシャルメディアを利用されている方が増えてきていることから、これらを活用した意見募集を行いました。

○提案数:207件

○登録数:約1,600

ツイッターフォロワー数 1,003、フェイスブック“いいね”数 642 ※平成23年11月30日時点

※インターネットを利用した情報発信、意見募集について

(1) 目標

- 新ビジョン検討の取組み・成果を情報発信する。
- ソーシャルメディアであるツイッターやフェイスブックを活用した意見募集などを行う。

(2) ホームページ構成

〔構成図〕



〔主な内容〕

- ① ホームページ内に設けた投稿フォームによる意見募集
- ② ツイッター、フェイスブックによる意見募集
 - ▶ 意見募集の投げかけや、フォーラムの開催案内等の情報を発信
※いただいたご意見については、事務局から返信をすることで、ソーシャルメディアの利点を活かした双方向のコミュニケーションが図れるよう心がけました。
 - ▶ いただいたご意見・ご提案を新ビジョンホームページのトップページに表示
(上記、構成図中②-3)

〔ホームページ閲覧数〕

- ▶ 10万件を超える閲覧をいただきました。

【実施結果概要一覧】

項目	結果
1. 有識者インタビュー	インタビュー数:52人 (※最終的に58人の方に実施しました。)
2. フォーラム (アジアのリーダー都市ふくおか！ プロジェクトリレーフォーラム)	11回開催 ゲスト:53人 参加者:延べ約1,100人
3. 市民アンケート	回答数:延べ3,250人
4. 論文	応募数:26作品
5. ワークショップ(ビジョン・カフェ)	・市民ワークショップ 91回開催 参加者:延べ約1,800人 ・市職員ワークショップ 18回開催 参加者:約700人
6. 団体等からの提言	・団体 3団体 ・市職員提言検討チーム 27チーム 参加者:約400人
7. お手紙、ホームページなどによる提案	・市民の皆さまからの提案:391件 ・市職員(研修等参加者):約700件
8. ソーシャルメディア (ツイッター、フェイスブック)	提案数:207件 登録数:約1,600 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ツイッターフォロワー数 1,003 フェイスブック“いいね”数 642 ※平成23年11月30日時点 </div>

※上記、5、7、8については、カードインテグレーションの手法を用いて集約しました。



インターネット上で
フォーラム概要などの
動画を掲載しました